

市内在住の吉田昌弘さん 将棋全国大会で健闘

第四十四回しんぶん赤旗全国囲碁・将棋大会が、十一月十一、十二日の二日間、東京・豊島区のホテルを会場に行われ、全国から集まった選手達が、



健闘しました。吉田さんは、県大会予選、県大会本戦とも全勝し、全国大会に出場しました。全国大会では、優勝候補の中川氏と対決し、善戦しました。優勝は、秋山太郎氏（東京）、準優勝・中川俊一氏（兵庫）でした。吉田さんは、小学校四

赤旗名人めざし熱戦を繰り広げました。この全国大会に、飯能市役所建設部道路課職員吉田昌弘さん（三五才）が

出場し、将棋の部で大健闘しました。吉田さんは、県大会予選、県大会本戦とも全勝し、全国大会に出場しました。全国大会では、優勝候補の中川氏と対決し、善戦しました。優勝は、秋山太郎氏（東京）、準優勝・中川俊一氏（兵庫）でした。吉田さんは、小学校四

年生の時、同級生に初めて将棋を教わり、中学一年生で本格的にやろうと思ったそうです。「将棋の面白さは、年齢、職業、国籍に関係なく、体が不自由でも誰とでも友達になれる点。友達は、全国にいますし中国にもいます。県大会で優勝したのは赤旗の大会が初めてです」ということです。しかし、全国大会に出場したのは今回で三回目（十三年ぶり）。将来が楽しみです。「これからも未

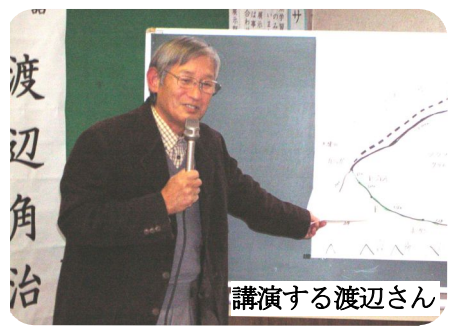
自分は、選手の気持ちも分かるし、道具の手配や進行などお手伝いできるところがあればやりますよ」と、これもまたうれしい一言でした。なお、吉田さんは、飯能市で唯一人の日本将棋連盟公認普及指導員として活躍しています。

シルクロードを行く

渡辺角治さんが語る

「日高・飯能民主文庫の会」第九回総会が十一月二三日開かれ、記念企画として「シルクロードを行く、人種のるつぼカシュガル」の街」と題し、平松在任の渡辺角治さんが、

話をしました。文学好きの渡辺さんは、中国の歴史や井上靖のシルクロードなどの話も交えながら、旅の中でバスや列車を乗り継ぎタクラマカン砂漠の西端、オアシスの街カシュガルでの多民族との出会いや、強い日差しと埃の中で越えた砂漠公路



などについて語られました。お土産の干しぶどうを戴きながら悠久の大地に思いをはせた時間となりました。

「男女共同参画社会」実現に向けた市の取り組みである「輝きセミナー」公開講演会、「自立して生きるということ」吉永みち子氏（ノンフィクション作家）が、一八日、市民会館小ホールで講演しました。

吉永みち子氏が講演

「男女共同参画社会基本法」ができたことは画期的なこと、この基本法をよりどころにして身近かなところから男女ともに意識改革が大切だということ、痛恨な話術でお話しし、会場には何度も大きな笑い声が響きました。

男女ともに輝く時代に

男女共同参画セミナー

「男女共同参画社会」実現に向けた市の取り組みである「輝きセミナー」公開講演会、「自立して生きるということ」吉永みち子氏（ノンフィクション作家）が、一八日、市民会館小ホールで講演しました。

吉永氏は、自分の両親、特に母親の生き方を当時の保守的な時代背景と重ねあわせて、精神的にも経済的にも夫に頼り切って生きるを得なかった自らの生き方をふりかえり、女性が職業を得て自立して生きるということ、は、まだまだ大変な社会であることをお話ししました。

「男女共同参画社会基本法」ができたことは画期的なこと、この基本法をよりどころにして身近かなところから男女ともに意識改革が大切だということ、痛恨な話術でお話しし、会場には何度も大きな笑い声が響きました。

火災多発期を前に

飯能消防団が特別点検

二五日、飯能消防団（柿沼敏夫団長、団員三八五人）の今年度の特別点検が埼玉西部防災センターの屋外訓練場で行われました。第一分団（十一分団）で総勢三五九名の団員たちが、服装規律や機械器具の点検、放水訓練などを行いました。制服姿もりりしい団

点検終了後には、消防功労者にたいする表彰が行われ、総務省消防庁表彰、埼玉県消防協会表彰、飯能警察署長表彰、埼玉西部広域事務組合消防表彰が贈られました。

